

さいたま市シニア大学大宮校
第六期校友会

六班だより

2010年3月 第15号
編集・発行 岡村昭則

人形の街・岩槻を ウォーキング

三月十八日、昨年同様にさいたま市シニアユニバーシティ校友会連合会主催の「人形の街・岩槻をウォーキング 岩槻文化財巡り」が開かれた。大宮校六期校友会から柿沼会長はじめとする二十一名が参加した。六班からは岡村一人でした。会場には大宮各地のシニアユニバーシティ校友会の人々が集まり、受付をしている。六期校友会もハイキングクラブを中心に集まっている。パソコンクラブからも六人ほど参加している。受付を終え

て会長の挨拶後、街中へと出発していく。

昨年は旧国道16号線に沿って南側を中心にウォーキングしたので、今年は国道の北側を中心にウォーキングするので、今回で岩槻の主なメインを訪れることになる。最初に人形の街岩槻に相応しく鈴木人形工房を訪れる。工房を見学するのは初めてのことである。岩槻がなぜ人形の街になったのか、歴史を遡ると、城下町として、また宿場町として賑わった岩槻には、日光東照宮の造営、修築にあたった工匠たちが、そのまま足をとどめ、人形作りを始めたといわれている。岩槻周辺は昔から桐の産地で、箆笥や下駄などの桐細工が盛んで、工匠たちがこの桐の粉を糊と練り固めて人形を作るとまことに発色がよく、岩槻の水が桐の粉に適していることを発見したのがこの始まりと云う。これが、岩槻人形の始まりと伝えられている。こうして作られた桐塑人形は、壊れにくく、精巧度でも土をしのぎ、また量産できることから休息に

発達したという。

岩槻人形は、頭づくり、衣装つけ（胴づくり）、手足づくり、小道具づくりとそれぞれ分業組織で相互的にパーツを組み合わせてお人形が出来上がっている。各工程ごとに仕上がった製品を製造問屋で完成品として組み立て、市場へ送り出しているという。やはり人形づくりの工程の中で一番大事なものは「頭の製作工程」で、人形のよしあしは顔で決まってしまうといわれるほどで、頭づくりはもともと熟練した腕を必要とする工程という。ヒナの顔描く職人の真顔かな



春惜しみ雛の歴史を学びけり
岩槻のヒナ工房は路地の奥
次の浄安寺も立派なお寺でこ
こには岩槻藩に仕え藩校となつ
た「遷喬館」を開講した儒学者・
児玉南柯の墓もある。今日は彼
岸の入りとあつて付近には線香
とお花を持って墓参りに来てい
る人も見受けられた。

久伊豆神社は太田資正が1550
年に岩槻城の鎮守として崇敬し
てきた神社で私も初めてである
が立派なものには驚いた。境内に
は岩槻城主が雨乞いした祈願に
使用したという「雨乞いの井戸」
や県内でも有数の「久伊豆神社
の大サカキ」（県指定天然記念
物）がある。ここで参道を囲む
木立の枝打ちが行われており、
空が少しずつ広がり始めている。
また、参道脇に早桜が一本咲い
ていたが、空がうす曇では花が
目立たない。最後に城址公園ま
で歩いた。近くでは広い空地で
遺跡調査が行われている。一本
だけだが、桜が咲いており我々
を楽しませてくれたが、青空が
ほしいところだ。城門としての
黒門は絵になる風景だ。

平成21年度彩の国 いきがい大学伊奈学 園を卒業しました！

(平成21年3月15日)

彩の国いきがい大学が伊奈学園の卒業が浦和の埼玉会館行われました。シニア大学大宮校六期校友会関係者は、一年制課程の高橋幸子さん、関利雄さん、吉田秀雄さん、岡村の4人と二年制課程の湯ヶ谷登さん、目出度く卒業しました。完全リタイヤーからの4年間は、さいたま市シニア大学・大学院・いきがい大学春日部学園・伊奈学園と計四回目の卒業式でした。どの卒業式も開放されるものちよつと寂しいものを感じるのは私だけでしょうか。

さて私は65歳で完全リタイヤーしてから、以前からパソコン、社交ダンス、グラウンドゴルフ等をマスターしたいと思って、さいたま市のシニア大学」に入学し、パソコン部を立上げて、それなりに駆使できるようになりました。次の目標として社交ダンスを習うべく、「いきがい大学春日部学園」

に入学し、クラブを立上げて練習を重ね、「いきがい大学校友会県連協主催社交ダンスの集い」に初参加しました。最後にグラウンドゴルフで地域デビューを果たしたく、「いきがい大学伊奈学園」に入学してクラブを立上げ、練習する中でルールを覚えて何とか実現させました。また、伊奈学園専科一期生のホームページになり、勉強して自分のホームページを卒業式までに立ち上げることができました。私にとって、この4年間は目標を立てて、それなりに充実した学生生活を過ごしてきました。

そのベースになるものは、何と言つてもシニア大学大宮校六期生として学んだことや、自治会活動や校友会活動で育んだノウハウです。それをいきがい大学でフルに回転させて学園生活を楽しんだこととは言つてもありません。

昨年は新しく設置された彩の国いきがい大学伊奈学園専科一年生課程「郷土を知るコース」の一期生として学ぶことになりました。4月20日、始業式と合同オリエンテーション終了後、教室に戻ってからクラスメイトと初顔合わせ

して、「名前・住んでいる所・趣味」の三つを紹介する形で自己紹介をしました。その後、クラスメイトの名前も覚えないうちにクラス役員や自治会役員の選出が始まりましたが、私はホームページ委員に立候補する以外はアマダ籤で決めて学園生活が始まりました。早くクラスの皆さんの名前と顔を覚えてもらうために班編成にして交流を図ったり、私が顔写真をパソコンで処理して配布したりしてきました。その甲斐あつてクラスの交流も進み、私の所属する2班も5ほど楽しい飲み会を重ねました。8名中いきがい大学やシニア大学出身者が7名とは驚きました。また、思い思いにクラブ活動に参加して他の専科コースの人たちとの交流を深めてきました。また、私が提案し、クラス全員で新年会を持ててよかったです。

何と言つても一番の思い出は、8月から約3ヶ月にわたり全員参加で取組んだ授業風景「振込め詐欺防止」寸劇を、学園祭初日に学園生の前でご披露できたことです。「振込め詐欺防止」キャンペーンに少しは役立ったと確信していま

す。これも六期校友会学習会からのヒントで、私の脚本と演出で見事に演じられました。

最後の締めくくりの卒業記念文集も六期校友会の丸写しですが、今度はカラーで作りましたので素晴らしいものが出来て、他のクラスから羨ましがられたことは言うまでもありません。加えて卒業式まで二回にわたり、クラス新聞も発行しましたが、これも六期校友会の丸写しです。このように私は六期校友会で学んだことを、伊奈学園で全て出し切りました。わたしにとって伊奈学園は思いのままにクラス運営ができました。これからは六期校友会を中心に活動して行きます。





平成22年3月15日 彩の国いきがい大学卒業記念 伊奈学園専科コース第1期生 於：埼玉会館

平成二十一年度校友会第六回 理事会が開催されました

三月十五日、大宮シーノで理事会が開かれ、六班からは班長の矢尾さん、副班長の池羽さん、岡村が出席しました。会議の内容は次の通りです。

定期総会議事資料の審議

平成二十一年度事業報告

平成二十一年度会計報告

平成二十一年度会計監査報告

平成二十二年事業計画(案)

平成二十二年事業予算(案)

役員改選(案)

以上六件について各担当者から説明があり、了承されて総会に提案することになりました。二十二年事業案の中で、学習会は8班担当、親睦旅行は六班と九班が担当、総会・懇親会は1班と10班が担当となりました。総務から来年度の会員は93名であることが報告されました。また、定期総会・懇親会の取組状況が7班と2班から報告されました。

連合会・協議会の動向について

柿沼会長より報告がありました。文化祭作品展示会が埼玉会館で

二月二十五日(28日まで)開かれ、全体で二百四十一点が出品され、六期校友会から十三名が出展した。芸能発表会も埼玉会館で二月に十五日に開かれ、六期からは「宇宙の会」カラオケクラブが参加した。どちらも同じ会場だったので素晴らしい発表会となった。両方を準備するのは大変だったことから、二十二年度は、同じ埼玉会館で二月二十四日(二十七日に行い、芸能発表会を二十五日に予定している)とも発表された。

大宮校協議会の事業実施報告

日帰りバス旅行は一月二十九日に実施し参加者79名でバス2台と盛況だった。六期校友会から25名が参加。

第2回グラウンドゴルフ大会は三月三日に開かれ六期校友会から14名参加。伊藤さん11位、山影さん13位に入賞した。

さいたま市ウォーキングが三月十八日開催され、六期校友会から21名と、昨年に引き続き大勢の会員が参加。

連合会関係

連合総会が五月十一日「市民会館おおみや」で開かれる。

シニアユニバーシティ大宮校 (平成二十二年三月二十四日)

第六期校友会第三回定期総会・懇親会

昨年の定期総会の総会と懇親会は総務・六班・九班が担当したので、その準備は時間がかかり大変だった。今年は他の班の人たちが担当していることから気楽に参加できたことは言うまでもない。仲間内とはいえ、何事も他人にお膳立てしてもらい、お客様になつて参加することはこんなにも楽なものかと思うほどだった。

それでも矢尾班長は理事会から参加申込を受け取るや、参加人数の把握やお金の集金やら忙しく先頭に立っていただいた。また、牧野さんや山田さんには懇親会での出し物を、昨年の一泊旅行の時から企画して頂き、振り付けや練習を指導いただいた。三人には心から感謝あるのみ。

私は伊奈学園に通っていたこともあつて活動がダブってしまい、忘年会や観劇にも参加できずに懇親会の出し物の練習に参加できなかったことを唯々お詫びするしかない。一度も練習していないの

で、会場に九時半集合と手帳に書いてあるので、確認もせずに、その時間に行くも待てども皆さんは来ない。どうやら十時半と云うこととらしかつた。皆さんが集まつて一番嬉しかつたのは、最年長の伊藤さんと、足が不自由な川ノ上さんが雨の中を出席してくれ我々六班は9名の参加となつたことだ。まことに残念だったのは、仁井田さんが急遽、心臓の検査日で出席できなかつたことだ。

みんな集まつたところで、ロシア民謡「泉のほとり」の寸劇は、忘年会に打合せしたとおりに女性は娘姿に、男性は髭とハンチングを被り、背広を後ろに着て兵隊に変身して、あれこれと修正しながら三回ほど練習して本番に備えた。

定刻どおり七一名参加で、杉本総務の司会で総会が始まりました。柿沼校友会会長が議長に選出され、平成二十一年度の事業報告・会計報告、会計監査報告、平成二十二年度の事業計画・事業予算・役員

改選等の案件がテキパキと処理されて滞りなく総会は終わりました。

総会の中で記すべきことは、役員改選では、総務の峰さんが体調不良のため、同じ班の山口さんにかわつたこと。もう一件は会計報告で、今年度までは総会の助成金を旧会計年度で精算していたため2回会計報告をしなければならなかつたのを次年度からは、助成金の精算で残額が出た場合は次年度に戻入と云う形で収入に入れることにして一回で会計報告できるようにしたことです。

私は春日部学園と伊奈学園で何らかの形で二つとも校友会活動と関わりをもっていますが、シニア大学大宮校六期校友会は、千円会でこの校友会よりも活発に活動していることは言うまでもないことです。執行部が校友会をまとめるために、それぞれが自分のできることを前面に出して協力していること。そのために執行部が自治会から変わらぬ体制で続いていることが大きな要因となっております。この灯を消さずに長く続けられることを願って止みません。そのためにパソコンクラブも校友会を影

から支えて行きます。

総会終了後、懇親会にうつり、小川司会の開会宣言が始まり、野村実行委員長の開会挨拶、柿沼校友会会長の挨拶と続き、池田副会長の乾杯で会食と懇談に入りました。各班(三班を除く)のアトラクションとなりました。今年はクラブモカラオケクラブに加えてボスケットがモダンダンスで参加し拍手喝采でした。みなさんお年寄りなので長いときめきのルンパに汗を流していました。

